

# 自然教育園における繁殖鳥類の変動

武藤幹生\*・千羽晋示\*\*

Change of the Breeding Birds in the Institute for Nature Study

Mikio Mutoh\* and Shinji Chiba\*\*

## はじめに

自然教育園では開園から本調査までに外来種も含め129種の鳥類が確認されている。しかし、現在それらのうちほとんどは冬鳥・留鳥で、夏に園内で見られる種類は極めて少数である。その中でも特に夏鳥の繁殖は皆無となっており、園内で見られる夏鳥は、ツバメを除きほとんどが渡りの季節の通過のみとなっている。

本報告では園内での繁殖種数に関して開園以来の変化を考察する。

## 1. 調査結果

自然教育園内で繁殖している鳥類の変動を過去から追っていくと、1950年ではカワセミ、キセキレイ、サンコウチョウ、コサメビタキ、メジロなど16種の繁殖が記録されている。1970年になるとほとんどの夏鳥とカワセミ、メジロなどの繁殖が見られなくなり、アオバズク、ツバメ、ムクドリなどの8種となった。1980年の調査ではカイツブリ、ヒヨドリが増え10種となっている。その後、カワセミが再び繁殖するようになったほか、オシドリやコゲラも新たに繁殖するようになったが、一方でアオバズク、コジュケイなどが姿を消した。

今回の調査(2000年)にまとめた過去3年の結果では、カイツブリ、オシドリ、カワセミ、コゲラ、シジュウカラ、メジロ、スズメ、ハシブトガラスの8種となっている。夏鳥は全く繁殖しなくなり、ツバメも採餌に飛来するのみで、繁殖鳥類のほとんどが留鳥となっている。園内で最も多く繁殖しているのはシジュウカラで、次いでハシブトガラスとなっている。コゲラは1980年代まで繁殖の記録がないが、その頃より東京都内全体で繁殖が見られるようになり、自然教育園でも現在では普通な種になった。園内では3~5つがいほどが繁殖していると思われる、枯れ木などに巣穴が見られる。カイツブリ、オシドリ、カワセミは1つがいだけが記録されているだけである。また、園内でメジロの巣の落巢が目立つが、これらのほとんどはハシブトガラスの攻撃によるものと推定されている。しかし、巣立ちの時期には家族群が見られるため、一部は園内もしくは周辺部で繁殖が成功しているものと見られ

---

\* 国立科学博物館附属自然教育園, Institute for Nature Study, National Science Museum

\*\* 国立科学博物館名誉研究員, National Science Museum, Cuator Emeritus

る。よってメジロは今回の繁殖鳥類の種類数に含めることにした。シジュウカラやコゲラ、カワセミ、オシドリなどの洞穴性の巣を作る種類は、カラス類による捕食から逃れやすく、メジロに比べ営巣数に対する繁殖成功率が高いようである。スズメは園内での営巣は多くなく、現業舎の屋根部に1つがい営巣しているのが確認されている。

キジバト、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリなどにおいても園内での繁殖は可能な状態であるが、メジロと同様にハシブトガラスの攻撃があるため、それを避けているものと思われる。ムクドリは秋頃より家族群が見られるようになり、自然教育園から比較的近い場所で繁殖をしているものと思われる。

自然教育園における1950年から2000年までの繁殖鳥類の種類数を図1に示す。

なお、シジュウカラのなわばり調査中に矢作英三氏によってヤマガラが観察されており、園内で少数が繁殖している可能性が高いと考えられる。ヤマガラは明治神宮などで繁殖しており、自然教育園内でも繁殖することは十分に考えられる。また、2000年7月に奥津励氏によってカルガモが水生植物園の橋で1個のみの卵を産卵したのが観察された。その後すぐ放棄したことから産卵場所に困っての緊急的な産卵と判断し、種数には加えなかったが、特記事項としてここに記しておく。

調査期間外ではあるが2001年4月に矢野亮氏によってエナガの巣と思われるものが園内の現業舎付近で発見された。その後カワセミの池のVTRや目視などで数度エナガが観察されており、園内で営巣を試みていた可能性が高い。エナガの繁殖は都内でもあまり例がなく、今後の動向を見守りたい。また2001年に皇居で繁殖が確認されたオオタカなども、皇居と自然教育園は比較的似た環境の場所であるから、今後注目される種の一つであろう。

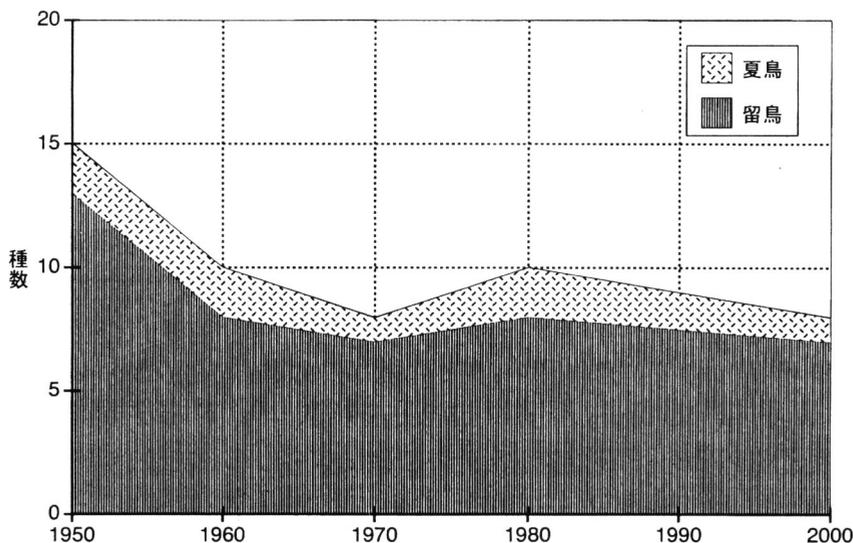


図1 自然教育園における繁殖鳥類の種類数変化



写真1 1998年春に繁殖したオシドリ



写真2 1998年春に繁殖したカイツブリ

### 参 考 文 献

- 千羽晋示. 1969. 自然教育園の鳥類群集について. 自然教育園報告, (1): 1-13.
- 千羽晋示. 1978. 自然教育園の鳥類について. 自然教育園報告, (8): 75-106.
- 千羽晋示・坂元直樹. 1981. 自然教育園の鳥類について 新たに記録された鳥類などの追加. 自然教育園報告, (12): 121-123.
- 千羽晋示・坂元直樹. 1985. 自然教育園の鳥類の記録(1982~1984). 自然教育園報告, (16): 75-82.
- 千羽晋示・坂元直樹. 1989. 自然教育園の鳥類の記録(1985~1988). 自然教育園報告, (20): 15-19.
- 千羽晋示・坂元直樹. 1992. 自然教育園の鳥類の記録(1988~1991). 自然教育園報告, (23): 1-9.